

広がる！ とぴあの仲間

かえ
岡田夏衣さん

(浜松市中央区湖東町)

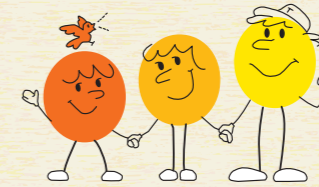
兄と姉の影響でバレーボールを始め、1年半が経ちました。センターやレフトなど、攻撃的なポジションでプレーすることが多く、チームみんなで協力して得点できるととてもうれしいです。県大会に出場できるように、これからも練習をがんばりたいと思います。



とぴあ's

Topia's Member

メンバー



西澤胡太郎さん

(浜松市浜名区滝沢町)

中学生までは別の部に所属していましたが、走ることが好きだという思いが強まり、高校入学を機に陸上部への入部を決めました。厳しいメニューも多いですが、これからも日々前向きに練習を重ね、祖父と約束した県大会出場を目指したいです。



瀧口良康さん

(浜松市中央区市野町)

今年の夏、33年ぶりに自宅の庭でリュウゼツランが花を咲かせました。私が花を見るのはこれで2度目です。花茎が出てからは妻と一緒に毎日写真を撮りながら観察していました。二人で心待ちにしていたので、花が咲いたときの喜びはひとしおでした。



鈴鹿 瞳さん

(浜松市中央区鴨江)

1女4男の母です。みんな「ありがとう」と「ごめんなさい」が言える素直で優しい子に育ててうれしく思います。あっという間に大きくなってしまふ子どもたちを記録するため、なにげない日常もビデオカメラに収めるのが我が家流。にぎやかに過ごす毎日が幸せです。

はやと
山本迅杜さん

(浜松市中央区佐鳴台)

飼っているオーストラリアン・シェパードに癒やされています。仕事から帰ってくると2匹がいつも玄関に出迎えで待っていて、顔を見るやいなやじゃれてくるその姿に、疲れも忘れて一緒に戯れています。いつまでも元気でいてほしいと心から願っています。



佐野三枝子さん

(浜松市浜名区新堀)

洋裁を始めて40年ほど経ちました。最近、孫や友人に頼まれて洋服のファスナーを修理したり、着物の帯をリメイクしてかばんを作ったりしています。みんなに喜んでもらえるのが何よりもうれしいです。元気な限り続けていきたいと思っています。



「森」
りました。
てみたい！
んな気持ち
作りに挑戦
「私も何か
とです。私
産にもつな
のを自分で
くさんいま
を取り入れ
る人のよう
すが、特集
本の食は危
よく耳にし
足など不安
異常気象に
は、輸入農
る暮らし方
今号の特集
編集後記

編集後記

今号の特集は「農のある暮らし方」です。最近、輸入農産物の高騰や異常気象による作物不足など不安なニュースをよく耳にしますよね。日本の食は危機的な状況ですが、特集に登場している人のように日常に農業を取り入れている人もたくさんいます。「食べるものを自分で作る」国産国産にもつながる素敵なことです。「私も何か作物作りに挑戦してみたい！」そんな気持ちになりました。(森)

Daiichi-TVで、毎週日曜日11:40から「ごちそうカントリー」を放送しています。ぜひご覧ください。



おたより
■ファーマーズマーケットをよく利用しています。新鮮でおいしい食材がうれしいです。農家の皆さんが一生懸命育ててくれた農産物を感謝の気持ちでいただきたいと思っています。
／浜松市H・Mさん
■いつもファーマーズマーケットをご利用いただきありがとうございます。ファーマーズマーケットは全部で4店舗あり、それぞれ特徴があります。今号のP.30・31にはこの時期の各店のオススメをご紹介しますので、お買い物の参考にしてみてくださいね。